

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	肉畜価格安定対策事業費								予算主管課		畜産課		
	事 業 概 要	肉用子牛、肉用肥育牛、肉豚の出荷価格が低落した場合の、所得や価格保証を行う事業に必要な資金を造成する。								始期		1977		
										終期				
	K P I	肉畜価格安定制度加入割合												
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %			
		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%		
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%		
		コ ス ト		最終現計 予算額	939 千円		最終現計 予算額	808 千円		最終現計 予算額	642 千円		最終現計 予算額	千円
	決算額			0 千円		決算額	0 千円		決算額	0 千円		決算額	千円	
					繰越額	千円		繰越額	千円					
					不用額	642 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	愛媛あかね和牛産地化支援事業費							予算主管課		畜産課		
	事 業 概 要	和牛の肉質や肉量に影響を与える遺伝形質を評価する技術を活用した品質改善等の取組みから、より愛媛あかね和牛に適した子牛生産体制への転換を促し、更なる産地化とブランド力強化に要する経費の一部を補助する。							始期		2023		
									終期		2025		
	K P I	愛媛あかね和牛出荷頭数											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	184 頭		目標値	192 頭		目標値	200 頭		
		実績値	130 頭		実績値	136 頭		実績値	172 頭		実績値	164 頭	
		ストック /フロー	フロー		達成率	73.9 %		達成率	89.6 %		達成率	82 %	
		コ ス ト		最終現計 予算額	12855 千円		最終現計 予算額	12855 千円		最終現計 予算額	11355 千円		
				決算額	10846 千円		決算額	7559 千円		決算額	8030 千円		
						繰越額	千円						
							不用額	3325 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因 長引く配合飼料価格の高騰や牛枝肉価格の低迷等による和牛繁殖基盤の縮小などの影響から生産頭数が伸び悩み、KPIの目標値に届かなかった。											
		総括 事業期間中に約500頭のゲノミック評価を実施するなど、あかね和牛の今後の改良に寄与する取組みが実施できた。8年度以降は厳しい経営環境を鑑み、生産体制の維持強化に向けた支援を行う。											
	見直し方向性												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	地産地消飼料増産対策事業費							予算主管課	畜産課	
	事 業 概 要	飼料生産組織の育成や飼料生産技術の向上、水田を活用した耕畜連携飼料の増産や、放牧の推進及び食品残さの飼料化を推進し、自給飼料の総合的な確保に取り組む。							始期	2005	
									終期	2026	
	K P I	飼料作付面積増加率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	2 %	目標値	3 %	目標値	4 %	目標値	5 %
		実績値	2.1 %	実績値	10.8 %	実績値	6.8 %	実績値	-3.1 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	540 %	達成率	227 %	達成率	-77.5 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	5740 千円	最終現計 予算額	6178 千円	最終現計 予算額	4949 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	3260 千円	決算額	4383 千円	決算額	4077 千円	決算額	千円
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	872 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析		要因 近年の主食用米の買取価格の高騰等に伴い、飼料用米は前年度比166ha減、飼料用稲は前年度比38ha減となり、作付面積が大幅に減少したため、未達成となった。							
			総括							
	見直し方向性		維持	7年度の目標達成率は低調であったが、外的要因によるものであり、一時的なものと想定している。飼料価格の高止まりを背景に、畜産農家の自給飼料生産・利用の意識は高まっていることに加え、国も9年度から水田政策を抜本的に見直すことから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,2 月補正	事 項	畜産生産基盤維持強化支援事業費						予算主管課		畜産課					
	事 業 概 要	畜産生産基盤を強化するため、畜産施設等の機能向上に向けた整備や、地域と調和した経営を図るための機械の取得等に要する経費の一部を補助する。						始期		2025					
								終期		2027					
	K P I	支援を受けた畜産農家の収益伸び率が1%増/年となっている畜産農家の割合													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	100 %				
		実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	%			
		ストック /フロー	ストック		達成率	%		達成率	%		達成率	%			
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	76000 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	35346 千円		決算額	千円	
						繰越額	38000 千円		繰越額	千円					
						不用額	2654 千円		不用額	千円					

7 年 度	要因分析		要因							
			総括							
	見直し方向性		維持	要望も多く、事業採択の段階で効果の実現性について検討している。次年度以降の予算見直しは想定していない。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	持続する酪農生産体制支援事業費							予算主管課		畜産課	
	事 業 概 要	将来に向けた優良な後継牛の確保を支援するとともに、酪農家の労働負担や生産コストの低減を更に後押しすることで、持続可能な酪農生産基盤の維持を図る。							始期		2025	
									終期		2027	
	K P I	県内乳用後継牛（２歳以下）の増加頭数										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	頭	目標値	頭	目標値	70 頭	目標値	140 頭	
		実績値	頭	実績値	頭	実績値	頭	実績値	231 頭	実績値	頭	
		ストック /フロー	ストック	達成率	%	達成率	%	達成率	330 %	達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	5010 千円	最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円	決算額	千円	決算額	4961 千円	決算額	千円	
				繰越額	千円	繰越額	千円					
					不用額	49 千円	不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPIは想定以上の成果が出ており、事業ニーズが高いことから、見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	全日本ホルスタイン共進会負担金								予算主管課		畜産課				
	事 業 概 要	第16回全日本ホルスタイン共進会の開催に要する負担金								始期		1981				
										終期						
	K P I	負担金の支払完了率														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	100 %		目標値	%		
		実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	100 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	150 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	千円		決算額	千円		決算額	150 千円		決算額	千円	
											繰越額	千円		繰越額	千円	
	不用額										千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因														
		総括														
	見直し方向性	維持	次回開催時においても現状を維持し、共進会への支援を通して家畜改良を促進することで、KGI実績の向上に寄与していく。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

2月補正	事 項	家畜導入緊急支援事業費							予算主管課	畜産課	
	事 業 概 要	飼料高騰等による経営環境の悪化により家畜飼養頭数の削減等を余儀なくされていることから、畜産生産基盤の強化を図るため、素畜導入等に係る費用の一部を補助する。							始期	2024	
									終期	2026	
	K P I	支援を受けた農家が導入・更新した素畜の飼養頭羽数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	頭	目標値	0 頭	目標値	4200 頭	目標値	5000 頭
		実績値	頭	実績値	頭	実績値	0 頭	実績値	4300 頭	実績値	頭
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	102.4 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	389912 千円	最終現計 予算額	798334 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			千円	決算額	13262 千円	決算額	278499 千円	決算額	千円	
					繰越額	421684 千円	繰越額	千円			
					不用額	98151 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	細施策KGIとの相関関係も高く、8年度も現状のニーズを踏まえるとKPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	家畜疾病情報デジタル化推進事業費							予算主管課		畜産課					
	事 業 概 要	令和6年度に構築した家畜疾病情報システムの適正な運用管理、環境整備を実施するとともに、畜産農家や関係機関を対象としたシステムの活用等に係る研修会を開催し、迅速かつ正確な家畜疾病対策や畜産DXに向けた生産性の高い体制を整備する。							始期		2024					
									終期		2025					
	K P I	県内畜産農家の家畜疾病システム導入率														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	0 %		目標値	100 %		目標値	%		
		実績値	%		実績値	%		実績値	0 %		実績値	4.2 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	100 %		達成率	4.2 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計	千円		最終現計	75985 千円		最終現計	6141 千円		最終現計	千円		
				予算額			予算額			予算額			予算額			
				決算額	千円		決算額	75985 千円		決算額	6053 千円		決算額	千円		
										繰越額	千円		繰越額	千円		
						不用額	88 千円		不用額	千円						

7 年 度	要因分析	要因 本年度から本格運用を開始したが、システム内で利用する疾病データの開示について、個人情報保護の観点で改修必要性が発覚したため、利用者を限定してデータベースとシステムの改修を進めてきたため、未達成となった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	2025年度の未達成理由が想定外の要因であり、事業の方向性としての見直しの必要性はない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

9
2月補正

事 項	県産畜産物消費拡大応援事業費								予算主管課		畜産課				
事 業 概 要	物価高騰に伴う生活防衛意識の高まりによる消費減退や全国的な鳥インフルエンザの発生による供給不安の影響を受ける県内畜産農家の経営安定を図り、県内畜産生産基盤を維持するため、県産畜産物の消費拡大プロモーションを実施し、消費の底上げに取り組む。								始期		2024				
									終期		2024				
K P I	県産畜産物の生産量														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	0 トン		目標値	0 トン		目標値	トン		目標値	トン		
	実績値	87935 トン		実績値	0 トン		実績値	0 トン		実績値	100 トン		実績値	トン	
	ストック /フロー	フロー		達成率	0 %		達成率	0 %		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	9680 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	9680 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	0 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析		要因												
			総括 メディアを利用した情報発信と料理講習会の開催等を実施し、県内消費者へ県産畜産物の魅力を伝える消費拡大活動に取り組んだことで、KGI実績値の向上に好影響を与えることができた。令和8年度以降は、底上げした消費基盤へ安定供給するため、畜産経営の各種支援に取り組む。												
	見直し方向性														

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。